

# 分会ニュース 2020

全日本港湾労働組合  
 関西地方建設支部  
 太平ビルサービス分会  
 大阪市中央区瓦町 1-6-10  
 電話 06-6229-3620  
<http://taiheibunkai.wp.xdomain.jp>



## どうなってんねん 組合Q&Aパート9 他にやることあるんちゃう

先月の明細書にはなんと「組合員の皆様へ」という文書が同梱されていました。「組合」名文書を会社が同梱、という前代未聞の出来事はこの際置いとこう。問題は「組合費控除の停止」というお知らせの中味です。

ということで「どうなってんねん 組合Q&Aパート9」他にやることあるんちゃう

Q 1

新「組合」は「緊急事態宣言が出ている4月度給与から当面の間、組合費の控除を一旦停止」するそうですが、皆が大変な時良いことではないですか。

A

彼らが表明しているのは「組合費控除の停止」だけです。あとは「一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご家族のご健康を心よりお祈り申し上げます」とか「3つの『蜜』を避け云々」と明後日の話をしているだけ。私たちはこれでは**全く不十分**だと考えます。

Q 2

たしかにこれだけでは不十分ですね。

A

政府も遅まきながら「持続化給付金」など事業者向けの給付金や貸付、「雇用調整金」など雇用者に関する給付、そしてなかなか届かない一律10万円など大わらわです。今日本中で一斉に商売が止まったり、仕事が無くなったりで大多数の人の収入が激減しています。尻の重い国もさすがにケツたたかれて家計の欠損補填に動いているのです。

問題は太平ビルサービスの従業員も同じです。会社のお得意さんが**次々に店を閉め、ホテルの**

**宿泊客はいない、学校は休校、立ち入り禁止**になっています。彼ら新「組合」の組合員もたくさんの方が出勤できなくなっています。4月10日締め切りの4月度給与はすでにその影響が大きく出ているでしょう。5月度給与は全期間にわたって崩壊状態です。**彼らはこの事態にどのように対処しているのでしょうか。**

## Q 3

太平ビル分会はどのように活動していますか。

A

分会は3月に春闘要求を提出し、3月、4月と団体交渉を重ねました。分会員の職場の状況を調査し、会社にコロナ問題の対応を確認しています。小学校休業に伴う特別休暇はこの交渉で休暇取得が決まっています。会社によると4月初旬でコロナ休業で**仕事が無くなって出勤できない従業員はいない**、と回答しています(会社全体で見るとこれは極めて怪しい)分会は春闘妥結後も新たにコロナ問題に絞って要求書を提出し、得意先休業に伴う賃金の補填を会社に要求しています。

## Q 4

新「組合」はこういった問題にどのように対処しているのでしょうか。

A

「組合費控除の停止」のあとなんの動きも聞こえてきません。あなたたちの組合員で収入が途絶えている人はいないのですか。

会社は4月には、休業中の得意先に勤める従業員は他所の応援に行ってもらっている、会社が出勤を停止した従業員はいない、と言っています。新「組合」の従業員は大規模な商業施設や大学など大人数の、また周辺遠隔地に勤務する従業員が多数います。全員就労できていますか。

会社が出勤を停止した従業員はいない、と言っているのはわけがあります。その場合は「**休業手当**」の**支払い**が発生しないからです。あくまで他現場に応援に行かないのは従業員の勝手、会社が自宅待機を命じたわけではない、という筋書きです。

## Q 5

分会はどのような方針で臨みますか

A

コロナ問題ではいわば世界中の人々が大変な災難に遭遇し、なんとか打開策を切り開こうと苦闘しています。我が太平ビルサービスでは収入の道が途絶えた従業員の処遇が**労働組合の最優先課題**です。分会は労働基準法に定められた休業手当を要求します。解決策は他にありません。そのために泥縄的ではありますが厚労省も雇用調整金の条件を緩和し、なんとか解雇を避けつつ休業手当の支払いに近づけようとしています。

新「組合」はこのような未曾有の時に「組合費の控除停止」が唯一の施策ですか。3『蜜』などの説明はアベノマスクより迂遠な愚行です。組合員あての文書の冒頭が「日頃は業務に精励いただきありがとうございます」ではそれこそ日頃の姿勢が問われますぞ。

このような危急の時です。建設支部はコロナ問題で「生活相談ダイヤル(06-6572-2105)」を始めました。新「組合」も我々と力を合わせて難局を乗り越えましょう。